

私語注意！

昨日、LTの時間に学級力アンケートの予備調査をもとに、どうしたら学級力を向上できるかについて話し合いました。いつも結果の良くない項目に「けじめ」「学習」「生活」が挙げられました。「生活」はほとんどの人はできていますが、忘れ物やちょっとした制服の乱れが見られるのは事実です。そういうところに気づけたのはいいことだと思います。

A組の1年間を通しての課題が「授業中の私語」についてです。授業がまとまらないほどのうるささではないけれど、必要のないことを話し始めて、それがいつまでたっても終わらない、ということは時々あるようです。問題なのは、話をしている人たちが「自分がうるさい」ということに気づいていない、という点です。それを改善する方法として「注意をしあう」という意見が出ました。

注意というのはなかなか難しいです。まず気づかない人も多し、注意がしたくても言い返されてしまったらどうしようと思う人もいます。なのでまずは自分の周りから注意をするようにしましょう。注意の仕方も大切です。「うるさい！」と怒鳴られてしまうと、「自分だってうるさい！」という反抗的な思いが出てきてしまいます。叱るのではなくて気づかせてあげられるような言い方を考えてみてください。そういう言い方を身に付けるのも、これからの人生でとても役に立つことです。



「うるささ」というのは個人差があります。結構大きな声で話していてもうるさいと感じない人もいれば、ほんの少しの私語が耳障りだと感じる人もいます。うるさいと感じる人に合わせるために、教室では一切何も話さないということはできません。時と場合に応じて、盛り上がったり大きな声を出したりすることも必要になります。つまり、考えなくてはいけないのは、「何を話すか」ということだと思います。授業に関係があること、今伝えなくてはいけないことであれば、話をしてもそれほどうるさいとは感じません。そうではなくて、放課の延長線上にあるような話だったり、今じゃなくても良いことだったりすると、うるさいと思う人は増えるでしょう。時と場合をしっかりとつかんで、話の内容を考えられる人になってほしいと思います。

「席を離せばいい」という意見が出ている班もありました。結局班の意見としては出てこなかったのですがそのままにしました。クラスで過ごす残りの時間や、仲が良いというA組の良さを考えると、席はそのままでもいいなあと先生は思っています。今の状態でけじめをつけて、私語を減らせるよう、それぞれが意識して過ごせることを期待しています。